

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 24日

事業所名 こども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	42	4			
	②	職員の配置数は適切である	36	8			移動時など多くの手を必要とし、職員が不足していると感じる時は応援要請の声を出していく
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	41	5		1階の日当たりなど各クラスで差があるので、各々換気に気を付けている	清掃・消毒に気をつけ、子どもの様子に合わせて環境を整える
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	41	5			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	38	8			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	45	1			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事所の会報やホームページ等で公開している	41		5		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	41		5		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	46			オンデマンドで虐待についての研修を全職員に行った。 食事についての専門職による事業所内研修を行った。	短時間、複数回の参加しやすい研修を行っていく
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	46				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	46			新版K敷発達検査2020を実施している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	40		6		臨時職員が計画内容を知る機会がない。 主担当から具体的な支援内容を伝えていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	46				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	46			月ごとの細かい支援内容を作成。随時、反省が行われる	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	46			子どもの状況によって変えている	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	46				臨時職員は計画作成に関わっていない
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	46			朝礼や支援前のミーティングを実施している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	43		3	常勤職員で振り返りを行っている	臨時職員は時間が設けられないので翌日、支援前に情報共有に努めている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	46				子どもの怪我などの検証、改善は臨時職員を含め実施している
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	46				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	40		6		サービス担当者会議に出席する機会が少ない
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	40		6		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				非該当	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				非該当	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	43		3		臨時職員へも移行支援の情報共有を行う
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	42		4		臨時職員へも移行支援の情報共有を行う
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	41		5		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	46			市と連携を取り交流保育を行っている	コロナ禍での実施は難しいが交流保育の回数が増えると良い
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	46				
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	45		1		
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	43		3		ペアレントトレーニングの講座への参加を呼び掛けていく。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	46				
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	46				
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	46				

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	46			コロナ禍で活動機会が減っている。同じ内容の活動を複数回に分けて実施している。	
	㉑	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	46				
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	46			毎月の便り以外にもメールで発信。感染情報など緊急を要する内容も迅速に発信している。	
	㉓	個人情報の取扱いに十分注意している	46			写真掲載など事前に説明、確認し同意を得るようにしている	
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	46			視覚支援として写真や絵を使用している	
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	46			福祉の村全体で行っている	
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	46			避難訓練を毎月実施している	
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	46			避難訓練を毎月実施している	センター全体の避難訓練も行い協力体制を取っていく
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	46			看護師を中心に児の健康状態を確認、服薬状況など主担任をはじめ情報共有をしている	
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	46			管理栄養士が利用開始時に聞き取りを実施、対応している	給食提供時にはクラス担当者と給食担当者が確認をし合い、間違いのないようにしている
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	46			ヒヤリハット発生日に全職員に情報共有し、回覧などを行っている	反省を次に活かす姿勢を持つ
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	46			オンデマンドによる虐待研修を行った	
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	46				臨時職員への情報共有を実施していく

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 別紙4

公表：令和 5年 3月 24日

事業所名 こども発達支援センター 保護者等数（児童数）287 回収数 220 割合 76.7%

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	200	13	0	5	遊戯室や園庭に人数が多い時があった	活動の様子をみて混雑している時は他の場所へも声掛けをしていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	189	18	3	9	発達障害への専門性のある先生が良い	職員が保護者の困り事や質問に答えることが出来るようにスキルアップを図る。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	192	8	0	19	生活空間はシンプルでわかりやすい。絵や写真で示してあるので子どもにもわかりやすい。	今後もわかりやすく適切な環境を整えていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	208	4	0	7	汚れや嘔吐などにすぐに対応してくれる。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	193	16	0	8	自分で気づいていないことを示してもらえることもあり、わかりやすく納得できる内容だった	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	172	21	0	27	子どもに合った目標を立ててもらえた	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	181	21	2	15	手を貸しすぎず、見守りながら誘導して頂いた	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	164	23	2	24	良く工夫されていると思う	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	92	25	41	62	コロナ禍なので仕方ないが交流の機会が少ないと思う	単独通所が主な関りにはなるが、今後、様子を見ながら行っていく
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	199	12	2	7	最初に説明がしっかりとされていた	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	196	7	1	16	面談もあり、その上で支援内容も伝えてもらっていて良かった	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	107	34	14	65	子どもとのコミュニケーションの仕方などアドバイスをもらえた	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	196	13	2	8	細かいことも話しやすい情報共有できた。連絡帳で情報交換ができた。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	175	27	9	8	感じていることを分かりやすく言葉で説明してくれた	

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	72	45	22	73	父母の会があるかわからない。コロナ禍で話すことが出来ず親同士の交流する場が欲しかった。	現在、単独通所のみで父母の会があるので他の親子・放課後療育に通われている方には周知されていない。全体へ周知する。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	168	25	1	19	相談体制は分からないが、日々のことは先生が聞いてくれる。トラブルにもすぐに対応してもらえる。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	183	21	0	10	療育室内の話が他の人に聞こえてしまわないか心配。	内容によっては場所を変える等、配慮をしていく。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	126	27	9	54	ホームページは見えない	ホームページも周知していく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	189	12	0	12	毎回、配布物は名前を確認してもらった	書類配布時には十分気を付けていく
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	136	20	11	49	メールが届くので感染症など最新情報を知れてよかった	引き続き、メールの活用をしていく。避難訓練に参加されない方にもわかるように掲示をする
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	131	18	14	48	避難訓練はしているが参加しないとわからない。全体周知がされていないのでは。	避難訓練に参加されない方にも説明する機会を持つ
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	182	25	0	6	通うようになって笑顔が増えた。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	190	22	2	0	細かく見てもらった。通うことで、子どもの気持ちの知り方、対応の仕方を知ることができて良かった。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。